

令和 7 年 2 月臨時会 文教厚生常任委員会記録

令和 7 年 2 月 3 日（月）

場所：鳥栖市議会 第 3 委員会室

目 次

令和 7 年 2 月 3 日（月）	5 頁
-------------------------	-----

令和 7 年 2 月臨時会日程

日 次	月 日	摘 要
第 1 日	2 月 3 日 (月)	審査日程の決定 スポーツ文化部（スポーツ振興課）審査 議案乙第 1 号 〔説明、質疑〕 健康福祉みらい部（地域福祉課）審査 議案乙第 1 号 〔説明、質疑〕 報告（高齢障害福祉課） 令和 7 年度からの地域包括支援センターの委託について 〔報告、質疑〕 議案審査 議案乙第 1 号 〔総括、採決〕

2 月臨時会付議事件

1 市長提出議案

〔令和 7 年 2 月 3 日付託〕

議案乙第 1 号令和 6 年度鳥栖市一般会計補正予算（第 7 号）

〔可決〕

〔令和 7 年 2 月 3 日委員会議決〕

2 報 告

令和 7 年度からの地域包括支援センターの委託について（高齢障害福祉課）

令和 7 年 2 月 3 日（月）

1 出席委員氏名

委員長 樋口伸一郎

副委員長 成富牧男

委員 中川原豊志

委員 西依義規

委員 田村弘子

委員 緒方俊之

委員 牧瀬昭子

2 欠席委員氏名

なし

3 説明のため出席した者の職氏名

健康福祉みらい部長 古賀達也

地域福祉課長 林康司

地域福祉課参事 犬丸喜代子

地域福祉課地域福祉係長 有馬健次

高齢障害福祉課長 竹下徹

スポーツ文化部長 石丸健一

スポーツ振興課長 小川智裕

スポーツ振興課スポーツ振興係長 佐藤義勉

スポーツ振興課長補佐兼施設係長 時田丈司

4 出席した議会事務局職員の職氏名

議事調査係主任 古賀隆介

5 日程

審査日程の決定

スポーツ文化部（スポーツ振興課）審査

議案乙第 1 号令和 6 年度鳥栖市一般会計補正予算（第 7 号）

〔説明、質疑〕

健康福祉みらい部（地域福祉課）

議案乙第 1 号令和 6 年度鳥栖市一般会計補正予算（第 7 号）

〔説明、質疑〕

報告（高齢障害福祉課）

令和 7 年度からの地域包括支援センターの委託について

〔報告、質疑〕

議案審査

議案乙第 1 号令和 6 年度鳥栖市一般会計補正予算（第 7 号）

〔総括、採決〕

6 傍聴者

なし

7 その他

なし

午前10時29分開会

樋口伸一郎委員長

令和7年2月臨時会の文教厚生常任委員会を開会いたします。

~~~~~

## 審査日程の決定

樋口伸一郎委員長

それでは、委員会の審査日程についてお諮りいたします。

お手元にあらかじめ正副委員長協議の上、審査日程案を配付しております。

付託議案は乙議案 1 件でございます。

審査日程につきましては、審査日程の決定後、スポーツ文化部、健康福祉みらい部の順に  
関係議案の審査を行いたいと考えております。

審査終了後、総括及び採決を行います。

審査日程については以上のとおり決したいと思います、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。

よって、委員会の日程につきましては、お手元に配付のとおりと決しました。

執行部準備のため暫時休憩いたします。

午前10時30分休憩

~~~~~

午前10時31分再開

樋口伸一郎委員長

再開いたします。

~~~~~

## スポーツ文化部（スポーツ振興課）

### 議案乙第1号令和6年度鳥栖市一般会計補正予算（第7号）

#### 樋口伸一郎委員長

これよりスポーツ文化部関係議案の審査を行います。

議案乙第1号令和6年度鳥栖市一般会計補正予算（第7号）を議題といたします。

執行部の御説明を求めます。

#### 小川智裕スポーツ振興課長

議案乙第1号令和6年度鳥栖市一般会計補正予算（第7号）について御説明いたします。

2ページをお願いいたします。

款22諸収入、項6雑入、目4雑入につきまして御説明いたします。

節4雑入スタジアムネーミングライツ料につきましては、株式会社駅前不動産ホールディングスと令和7年2月から令和10年6月までの3年5か月、契約金額税別1億250万円で契約を締結いたしましたので、そのうち、本年度分となる2か月分の増額補正でございます。

3ページをお願いいたします。

款10教育費、項5保健体育費、目1保健体育総務費につきまして御説明いたします。

節12委託料、地域交流推進事業につきましては、5ページをお願いいたします。

目的といたしましては、鳥栖市をホームタウンとするサガン鳥栖と連携し、ホームゲームの活用による交流の推進や地域との積極的な関わりによって地域の活性化を図るものでございます。

事業内容といたしましては、ホームゲームにおける冠試合開催、ホームゲーム招待事業として、令和7年2月、3月に開催されるサガン鳥栖のホームゲームに合計4,000人を招待し、うち1試合において冠試合を開催するものでございます。また、ホームゲーム観戦促進事業として、サガン鳥栖のホームゲームをグループ観戦できるシートを確保し、市民の観戦促進を図ることといたしております。

4ページをお願いいたします。

令和6年度繰越明許費について御説明いたします。

款10教育費、項5保健体育費、地域交流推進事業につきましては、今回補正をお願いしておりますホームゲーム観戦促進事業につきまして2025シーズンを通じた契約となるため、令和7年度への繰越しをお願いするものでございます。

以上でございます。

**樋口伸一郎委員長**

執行部の御説明が終わりました。これより質疑を行います。御質疑のある方は挙手にて御発言をお願いいたします。

**牧瀬昭子委員**

御説明ありがとうございます。

飛松議員の議案質疑への答弁の中で、周知を行ってまいりますと。内容としては、小中学生の観戦シートをホームページなどで募集しますという話がありましたが、ほかにも周知の在り方とか、募集の仕方とか、具体的にありましたら教えてください。

**小川智裕スポーツ振興課長**

今後ドリームスと調整をさせていただきたいんですけれども、チラシの全戸配布等を検討させていただいて、なるべく多くの市民の方に情報が行き渡るように検討を進めてまいりたいと考えているところでございます。

以上でございます。

**牧瀬昭子委員**

ありがとうございます。

全戸配布ということですが、この分のチラシ作成費はこの中に入ってくることになりますか。

**小川智裕スポーツ振興課長**

そこを含めたところでこちらの金額となっております。また、先ほど御説明が漏れておりましたけれども、小学生につきましては、保護者向けの一斉送信メール、そういったシステムがございますので、そこを活用して十分な周知を行ってまいりたいと考えているところでございます。

以上でございます。

**牧瀬昭子委員**

ありがとうございます。

4,000人分と計上されていますけれども、4,000人になった経緯というか、なぜ4,000人になったのか教えてください。

**石丸健一スポーツ文化部長**

事前にサガン・ドリームスとの下打合せといたしますか、そういうことを行ってきておりまして、この数値というものが出てきております。

**牧瀬昭子委員**

J 2になったということで、人数が減るのではないかという見込数みたいなものを計上された上で、この分はもう少し手厚くしようとかいう計算だったんでしょうか。

**石丸健一スポーツ文化部長**

サガン・ドリームスとしては人数を減らすというか、結果的に減るかもしれませんが、J 1 同様ぐらいにはというお考えを持っています。ですので、その中で無料招待が増えると、売行きの関係とかもありますので、その辺の兼ね合いでこの数字が出ております。

**樋口伸一郎委員長**

ほかにございますか。

**西依義規委員**

このやり方がいいのかどうか分かりませんが、目的の「地域との積極的な関わりによって地域の活性化を図る」というこの文言は、どの事業のどの部分を指すんですか。

**小川智裕スポーツ振興課長**

本事業につきましては、まずはホームタウンを身近に感じてもらうためには、試合会場に足を運んでいただいて、生のスポーツ観戦の醍醐味、また、ホームスタジアムでの雰囲気味わっていただきたいということで冠試合を開催させていただいて、市民の方に関心を持っていただく。それとあと、ホームゲームの集客事業を4,000人規模で実施することによって、実際に足を運んでいただく機会を確保したいと思っております。そうすることによりまして、市民がよりスポーツに関心を持ってもらうことによって、より活力、活気ある日常を送っていただけるようになるかと思っております。また実際、集客がありますので、中心市街地のほうにはにぎわいも出ておりますので、その辺を含めまして地域との積極的な関わりを持つこの事業を御提案させていただいているところでございます。

以上でございます。

**西依義規委員**

令和6年度の冠試合のときはどういうことをされたんですか。

**小川智裕スポーツ振興課長**

令和6年度は8月11日に市民デーを開催させていただいております。大きな内容でいきますと試合前にセレモニーがございます。その際に、市内小学生から募集をかけておりまして、選手とともに入場をするという触れ合いの機会を設けております。それとあと、キックインセレモニーがございます。その場に市長、議長と小学生からの募集をかけたお子様と一緒に3人でキックインをするような機会を設けさせていただいております。

それと8月11日は70周年記念ということで、市内高校生が作成しました「鳥栖映え動画」をハーフタイムにビジョンを使いましてお披露目を行っております。これにつきましては、

せっかくの機会ですので、今後も続けてまいりたいと考えております。

それとあと試合前になりますけれども、前座試合というものができるようになっておりますので、その枠を活用いたしまして、市内とクロスロード協議会——久留米市、小郡市、基山町、そちらのほうから少年サッカーチームをお呼びいたしまして、試合前にスタジアムのピッチの中で交流試合をしていただくなどを行っているところでございます。

それとあと、無料招待のほうも小学生と一般の方を含めて700組1,400人の募集をかけて、市民デーを盛り上げて、市全体で応援を行ったところでございます。

以上でございます。

#### **西依義規委員**

支援することに全然反対はしないんですけど、今までもそうやって招待されて、今回1年限りで、この後の全協で話があるのか分かりませんが、ほかになかったのかなという気がちょっとして。同じ1,600万円を使って、いろんなことを考えられたと思うんです。

予算というものは、この金額で最大の効果をしないといけないじゃないですか。それがほかになかったのかという気がしているんですけど。ほかにも検討されたようなことがあったら教えてもらっていいですか。AとBとCを。いろいろ考えたけど、やっぱり小学生を4,000人招待することが効果あるんだということに落ち着いたのか。それとも、サガン・ドリームスからこれをお願いしますと、こういうやつで納まったのか。その辺はどうですか。

#### **石丸健一スポーツ文化部長**

サガン鳥栖のサポーターは、特にお年寄りの方が多うございまして、やはり世代交代というものも一つの大きなポイントというふうになっております。ですので、長くサポートを続けていくためにも、そういう掘り起こしも含めて、低年齢のときから親しんでいただく。

また、そのほかにも当初予算に向けて検討している事項は多々ありますけれども、臨時議会で取りあえずといいますか、2月、3月に実施する部分について今回、提案をさせていただいております。

#### **西依義規委員**

サガン・ドリームスの財務状況みたいなやつは……、まだ出ていませんか。決算は終わったのかな。それはどうですか。例えば、債務超過が幾らだから、そこは何とかみたいな話まで含めるのか。それとも、盛り上げるために、ばっと1,600万円なのか。

サガン鳥栖を支援するためにはいろんなやり方があるじゃないですか。お金をやればよかったかもしれん。その辺はどうですか。

#### **石丸健一スポーツ文化部長**

サガン・ドリームスは現在債務超過の状態でございまして、その債務超過解消に向けて今、

努力をされています。来年度に債務超過を解消するという目標で今、様々取り組んでいらっしゃいますけれども、今回2月の臨時議会で御提案している内容、それからまた当初予算のほうでも様々検討してまいりたいと思っておりますので、そういう支援が債務超過解消の一助になるというふうには思っております。

以上です。

#### **西依義規委員**

ホームゲーム観戦促進事業で、グループで観戦できるシートの確保は繰越明許費なので、具体的な方法はまだ今からっていうことですが、どうやって募集とか、どういう人たちを考えているのか。飛松議員の議案質疑の話があったけど、もう一回教えてもらっていいですか。

#### **小川智裕スポーツ振興課長**

ホームゲーム観戦促進事業につきましては、グループで6人まで観戦ができるグループシートをサガン・ドリームスさんが設定していただいております。そちらを通年活用させていただきまして、今、調整をさせていただいているのが、市民ポータルサイトからの申込みを受け付けて、そちらの周知も図れないかということで考えております。それとあと進出企業、そういったところにも見ていただく機会を、グループシートで確保できないかと検討を進めているところでございます。こちらにつきましては、2025シーズンを通した確保が必要ということで、繰越明許費をお願いをしているところでございます。

以上でございます。

#### **西依義規委員**

ここは意見を言う場ではないかもしれないですけど、私が思うのは、やっぱり少ない予算で最大の効果をしないといけないので、165万円のやり方だと思うんです。例えば、市役所1階の市民課に来て、引っ越し人がいるじゃないですか。3月に引っ越してきた方の中から、1組、2組に当たりますというような。鳥栖市の住民は、もう今まで行っていないから、なかなか腰を上げるのは難しい。ですけど、引っ越してきた人って、鳥栖市から招待されれば、多分うれしく思うんで。もうちょっと効果を担当課で考えていただいて、できたら目立つようにしていただきたいなという気がしますんで、ぜひ御検討をお願いします。

#### **樋口伸一郎委員長**

ほかにございませんか。

#### **中川原豊志委員**

ホームゲーム招待事業で、2月、3月のホームゲームの日程が分かれば教えてもらえんですか。



#### 石丸健一スポーツ文化部長

2月のホームゲームは1試合でございまして、2月15日14時からベガルタ仙台と行うものであります。3月は3月1日に今治と土曜日14時から。それから、15日土曜日に大宮と14時から。それから、23日の日曜日に富山と14時からホームゲームが開催される予定になっております。

#### 中川原豊志委員

チラシを作って全戸配布とかいうことだったんですけれども、2月15日はもう間に合わないですね。だから、冠試合等については3月以降になってしまうのかと思うんですが、全戸配布に当たっては市報もしくは各地区の回覧板なりと一緒にすると、15日のチラシが間に合えば3月に十分間に合うかもしれないけど、15日までに間に合わなかった場合は3月1日もなかなか厳しいという日程ではないかと思うんですが。今後のスケジュール関係をどう考えているのか教えてください。

#### 小川智裕スポーツ振興課長

スケジュールにつきましては、議員御指摘のとおり大変タイトなところになっております。

できる限り下打合せのほうも行っておりまして、今後、議決いただければ、正式にサガン・ドリームスと調整をして、スムーズな周知関係を行ってまいりたいと考えております。現状で具体的にこのスケジュールというのは、すいませんが持ち合わせておりませんけれども、サガン・ドリームスと協議し、スムーズな市民招待ができるように今後努めてまいりたいと思っております。

以上でございます。

#### 中川原豊志委員

事業内容に2月、3月のホームゲームと書いてあるんで、2月って書いてあるけど、2月15日も招待をするのであれば、早急な対応が必要かなと思うんですけど、2月の分については間に合うのか。

#### 石丸健一スポーツ文化部長

全戸配布についてはぎりぎりできるかどうかの状況ですけれども、先ほど申し上げたように、小中学校等は学校の伝達の方策を使わせていただいたり、主にホームページ等を活用させていただいたりしておりますので、そちらをもって、できるだけ間に合うように頑張りたいと思います。

#### 中川原豊志委員

2月、3月と書いて、2月15日が本当に間に合うのかと思うんで、今日、議決されてからの話になるのかもしれませんが、2月を書いていないなら、3月からでいいんですが。2月

も書いているから、よっぽどの対策を考えないと、2月は間に合わないんじゃないかと心配をしますんで、一応、申出しておきます。

**樋口伸一郎委員長**

ほかに。

**成富牧男委員**

さっきから出ているとおり、令和6年度はもうあと2月、3月でしょう。そして、令和7年度も引き続きという話もありました。何でこの時期にしないといけないのか、決定的な理由はいまいち分かんですけど、そのところは。

**石丸健一スポーツ文化部長**

市の年度は4月から、それから、Jリーグについては2月から始まりますので、2月、3月分の御審議につきましては、補正予算で御審議いただき、それから、4月以降の分については――2月の段階で契約等が必要な場合は、先ほど申し上げた繰越明許費で上げさせていただいております。新年度については、新年度予算で御審議いただくものと思っております。

**成富牧男委員**

例えば、これが既に計画があったけれども、どうしても予算が足りないからっていうやつやったら分かるけど。もちろん冠試合は毎年度やっておられると思いますけど、新規みたいなイメージで、どうして4月以降ではいけないのかというのが、決定的な理由がいまいち分かんです。

**石丸健一スポーツ文化部長**

市長もお話になりましたけれども、J1復帰を目指しているサガン鳥栖と一緒に戦っているとか、支援していくという考えがございますので、それからすると、2月の開幕戦に向けて、まずは当該年度の予算で御審議いただきまして、本格的なものは当初予算でと考えております。

**成富牧男委員**

なかなか直接のお答えはないようですので、これはやっぱり予算の上げ方として……、後がないならいいけど、しているものを引き続きとなったら、なおさらあと2か月足らず待てないのかという話になります。

もうこれ以上、お答えが出ないようですので、それはそれで進めておきますけれども、私はこの予算の上げ方はいかななものかと思います。

それから、4,000人の招待ですけど、これは後で精算か何かあるんですか。委託料の精算は。4,000人って、ある意味予想ですよ。実績に応じて委託料の減額とかあるんですか。

#### **小川智裕スポーツ振興課長**

こちらにつきましては、サガン・ドリームスに委託をさせていただきまして、募集をかけていただきます。それで、当選者が合計4,000人となるような形で行わせていただきます。その段階で発券をされます。その後、諸事情によって来られない方もおられるかと思いますが、もう発券されておりますので、4,000人の事業は実施ということになります。

その中でどれぐらいの割合になるのかは分かりませんが、諸事情によって来られない方というのは一定数おられるかと思っています。

#### **石丸健一スポーツ文化部長**

理論的にはそれに達しなかった場合は、その人数分になるとは思いますけれども、基本的にはそれ以上の応募があると思います。

#### **成富牧男委員**

結局その分は、言うなら、もう買取りみたいなものですね。サガン・ドリームスが経営努力してする分を、その分買い取ってやってみたいな感じにならないのかな。

#### **石丸健一スポーツ文化部長**

一般の売行きに影響するので、先ほど申し上げたように、その辺はサガン・ドリームスの集客の考え方も含め、またそれについて話はさせていただいて、この数字を出しております。

#### **成富牧男委員**

一般の小学生じゃなくて、鳥栖市のいわゆるサッカー人口の裾野を広げるという意味では、今も少年サッカーチームはきちっとした名前もあれば、何人かで任意で集まってやっておられるようなこともあるかもしれませんが、ピンポイントじゃないけど、はっきり分かっている分については、私は優先的にしてもいいのかなと思うんですけど。

そこら辺はもう何もしない、とにかく小学生どうぞみたいな感じ？事業の内容を分かっただけで言っているかもしれませんが、そのところも含めて教えてください。

#### **小川智裕スポーツ振興課長**

小学生、中学生については、案内については、全校児童、全校生徒の保護者にメールの一斉配信ができますので、その中で、そういった市内の小学生のサッカーチームに入っているような方、そういった方にも保護者宛てに、全ての方には行き渡るやり方を検討しておるところでございます。

以上でございます。

#### **成富牧男委員**

関心のある方は当然、応募はしてくると思いますけど。参考に聞きたいんですけど、小中学生のサッカーチームっていうのは、何チームでどれぐらいなのか。サッカー人口でよく言

うやつは把握されていますか。

**石丸健一スポーツ文化部長**

把握できておりません。

**成富牧男委員**

それは最低把握して、それから前も言っているように、北部グラウンドの活用も含めて、それは現状を知る上で、きちっと把握すべきだと思います。

見る人たちも高齢化しているかもしれんけど——見るっていうか、見ることもサポートだから。サポーターが高齢化しているって話とも合わせるならば、その核となるような少年サッカーに最も興味が——実際プレーしているような人たちっていうのは、核になってもらわないといけなから、最低把握して、それなりの支援策とかいろいろやっていいんじゃないですか。いかがでしょうか。

**石丸健一スポーツ文化部長**

おっしゃるように、そういう方が核というふうになるかと思えますけれども。今回は幅広く、まだ来たことがない、見たことがない人とかに力を入れたいと思っておりますので、今、申された部分については当然、やっていかなければいけないというふうに思っております。

**中川原豊志委員**

確認させてください。

招待するのは小学生とその親が1組という考え方で、例えば、小学生が2人いるけど、親は1人とか、もしくは中学生は対象になるのか、ならないのか。保育園生も対象になるのか、ならないのか、そこまで教えていただきたい。

**小川智裕スポーツ振興課長**

今まで行ってきたのは、小学生の親子ペア、保護者1人と児童1人という形で行っております。2人お子さんがおられるところは、お父さんお母さんとか、そういった形で申込みをされてあるのが多いかと思っております。今回、小中学生も一つ検討させていただいております。その中では、やはり同じような形で、親子ペアという形で募集をかけさせていただきたいと思っております。

あと、一般の方についてもペアでの観戦をしていただいて、今後の観戦につなげていただきたいと思っておりますので、ペアでの申込みを検討しているところでございます。

以上でございます。

**中川原豊志委員**

ということは、今の話は小学生の親子ペア、中学生も親子ペアで、大人のペアの提案も大丈夫ということ。保育園児とか幼稚園生は保育園、幼稚園でもサッカー教室みたいなことを

やっているところも多くありますので、関心を持っておるところがあるかもしれませんので、その辺はどういうふうに考えておられますか。

**小川智裕スポーツ振興課長**

幼稚園生等につきましては、未就学児については膝の上での観戦ができるということで、例えば、御両親とペアで取っていただければ、お一人のお子さん、幼稚園生とかであれば膝の上での観戦ができるようになっているところでございます。基本的にはペアでの観戦、小中学生とはまた別に、一般の方については年齢制限を設けず、募集をかけたいと思っているところでございます。

以上でございます。

**中川原豊志委員**

小中学生についてはメールで一斉送信できるというふうなことです。幼稚園、保育園というところについては、多分、全戸配布のチラシが間に合わない場合、何らかの周知もしてほしいなと思うんですが、ぜひその辺も検討はしていただきたいと思います。

**樋口伸一郎委員長**

ほかに。

**田村弘子委員**

基本、親子ペアと言われたんですけど、未就学児がいれば3人でもいいんですか。

**小川智裕スポーツ振興課長**

未就学児については、保護者の膝の上という観戦ができますので、可能となっております。

以上でございます。

**田村弘子委員**

ありがとうございました、未就学児以上で5人家族のところ、この場合はどういう対応ができますか。それとも何かしら枠を考えてありますか。

**小川智裕スポーツ振興課長**

御質問の内容といたしましては、小学生3人のお子さんがおられて、御夫婦で5名での観戦の想定ということで、今回についてはペアということで考えているところでございますので、一つ可能なのが、小学生の枠2組で、あと一般枠もございますので、おじいちゃん、おばあちゃんとかと小学生を組み合わせさせていただいての6人での観戦とか、そういった形での応募は可能ではないかと考えているところでございます。

以上でございます。

**田村弘子委員**

ありがとうございました。

管理だとかチケットの配付だとか手間暇になってしまうかもしれませんが、年間を通してホームゲームのときに、1回でも2回でも多子世帯に優しい日があってもいいのかなと思いますので、考えていただけると幸いです。

以上です。

**樋口伸一郎委員長**

ほかに。

**中川原豊志委員**

そもそもですけども、この臨時会があつてここで審議しているんですけども、さっき言ったように、2月15日はもうぎりぎりやけんが、周知がどうできるのか分らんっていう話をしよったんですが、例えば、臨時会じゃなくて12月とかで予算計上することって困難だったんですか。そうしたら、時間的余裕も十分あったかと思うんですが。

**石丸健一スポーツ文化部長**

12月議会であれば、早ければ10月ぐらいに予算の決定をしなければいけないと。その段階では整理ができていなかったということでございます。

**中川原豊志委員**

そもそも開幕戦あたりは市民デーとか開幕試合の冠試合とか、例年やっとなったような気がするんです。それならば、ばたばたとなって、この時期に上げるんじゃないかって、やっぱりもうちょっと早く上げれば、市民への周知もスムーズにいったもんじゃないかなと思うんですが。どうして12月でできないのかなって今、思ったところです。

**石丸健一スポーツ文化部長**

サガン・ドリームさんとある程度事前の打合せとか、そういうことを行っておりますけれども、そこがその段階で十分整理ができていなかったということで、予算計上ができなかったということです。

**西依義規委員**

私、この事業名が悪いと思うんです。結局、J1に残ったとったら、この事業はしなかったんですよね。どうですか。

**石丸健一スポーツ文化部長**

そのようになったのではないかと想像します。

**西依義規委員**

J2降格が決まらんと、まずこういう事業が始まらないんで。10月だったか9月だったか分からんですけど、そのときは無理だったと。

同じ事業みたいに継続するから、そういう質問が出るんで、これは全く違う、J 1 復活事業か何かして、その第一弾とすればよかったのに、地域交流推進事業と、今まであったようなものを補正するから、こういう混乱が生じる。

これは全く別物の事業ですと、J 2 にいるサガン鳥栖を応援する事業ですっていう意味合いなら全然、今の時期しかないし、今の時期だから、ばすっとはまる。その辺はどうですか。

やっぱりこの事業はこの継続だけ——ぶっちゃけ、これに地域との積極的な関わりってあんまりないじゃないですか。この事業は本当に地域に根差していつていますかって。ネットで申込みして、保護者に連絡して。

我々が思う地域は、やっぱり小学校ぐらいに出回って、地域とサガン鳥栖がというのが入っていればいいですけど、そういうものは1 個も入っていない。今までどおり。

だからやっぱり、事業名が混乱を来しているんじゃないかなという気が私はしますが、その辺について部長、見解はどうですか。

#### **石丸健一スポーツ文化部長**

確かに事業名から見ると、そこに付加したような感じにはなっておりますけど、提案理由説明でも市長がおっしゃっていましたが、J 1 復帰を目指すサガン鳥栖ということで、フレーズについてはそのフレーズでございますので、すいません、説明の仕方が足りなかったのかなと思います。（「支援事業だから」と呼ぶ者あり）

#### **西依義規委員**

そこはしっかり支援事業で、我々は理解しましたんで。ほかの市民の方へもと。

あともう一つ、4,000 人の振り分けは話がついているんですか。4,000 人を2 月、3 月でどう行っていくというのは。例えば、開幕戦に何人ぐらいとか。

#### **小川智裕スポーツ振興課長**

今、サガン・ドリームスと協議しているのは、市民デーについては3,000 人ほどと。あと1,000 人枠がありますので、それについては、ほかの試合にも市民の枠を設けるように協議をしておりまして、具体的にこの試合に何名というのは今から調整をさせていただくところでございます。

以上です。

#### **西依義規委員**

市民デーがいつかは決まったんですか。

#### **石丸健一スポーツ文化部長**

今のところ2 月については、もう冠スポンサーが決定しておりますので、3 月のいずれかの日で調整をさせていただきたいと考えております。

## 西依義規委員

やっぱり費用対効果が必要なんで、4,000人をどううまくするのか、やっぱり観客が少ない試合もあると思うんで、そこに充てるのか。それとも、多めのところにプラスで乗せるのか。そこは持っていく方次第なんで。がらがらのところに3,000人を入れるのが、果たしていいのか私もよく分からないんで。冠スポンサーがつきにくいところにつけてやったほうがいいかなっていう気もしますんで、ぜひ考えてください。

## 樋口伸一郎委員長

ほかにございませんか。

## 成富牧男委員

さっき西依委員も言っていたけど、支援すること自体は私も否定はしないんですけど、鳥栖市がサガン・ドリームスから当てにされ過ぎてもいかんと思うんです。財政的な問題、かれこれ。そのところは釘をきちっと刺してもらおうと。

先ほどの説明ではこの事業についての協議のような話やけど、やっぱり生々しいっちゃうか、いろんな話もあっているんじゃないかと思うんですけど。やっぱり主体はサガン鳥栖ですから、いくら外側からたきつけても主体がしっかりせんと盛り上がらんのであって、もう少し自助努力っちゃうか、そういう言い方をすると怒られるかもしれんけど。

今、大分トリニータってどっち……（「J2ですかね」と呼ぶ者あり）

その社長が地をはうようにして、もう自ら一つ一つスポンサーを獲得していくような話があったんで、やっぱりそういうものは、支援する鳥栖市として求めているかと思うんです。そのところだけ聞いておきたい。

## 石丸健一スポーツ文化部長

今の社長になりまして、スポンサー獲得については特に力を入れていらっしゃいます。

その辺は、私たちとしては市外のスポンサーさんも、大きなところも必要でしょうけれども、ずっとJ2から応援してきた鳥栖市内の、また、それから途中でおやめになった企業さんもいらっしゃいますので、鳥栖市の企業さんを大切に、そちらのほうに力を入れて、顔出しとかぜひしてくださいということで。その辺は重々私たちも同じように思っております。

## 成富牧男委員

あと、当てにされたらいけないと、そのところはどう思われますか。

## 石丸健一スポーツ文化部長

あくまでも民間企業ではございますので、基本的にはチームで解決していただかなければいけない。ただし、一緒に事業を行ったりすることで、一助になるということでしておりますけれども、基本はチームの問題というふうに思っております。



#### 成富牧男委員

これは地域連携だから、この事業は一緒にでいいと思うんです。ただ、それこそ支援っていう部分をやっぱり明確にして、支援っていうのは一緒にじゃないですね。市役所の事業にも支援事業というのはいっぱいあるけど、全く一緒になって何かやることは、ちょっとスタンスが違うと思いますので、そこのところよろしくお願いします。

#### 中川原豊志委員

J 2に降格して、すぐさま知事が1年でJ 1復帰を目指そうということで、市のほうにも来られて、連携していくというような形でしょけれども、県のほうの具体的な事業内容が分かればというのと、県との連携っていうのはどういうふうな感じで考えていかれるのか。知事の一生懸命な動きが先に来たような気がするものですから。わーっと言って、県は何もしないというわけじゃなかろうと思うんですけれども。何か動きが分かれば教えていただければ。

#### 石丸健一スポーツ文化部長

はっきりはまだ聞いておりません。ただ、いろんな広告とか、そういうものを考えていらっしゃるようなことはお聞きをしております。あと、県のほうは直接サガン・ドリームスの会社のほうに取締役も送り込んでいらっしゃる。あと、県プロサッカー協議会で専任職員を派遣して、実際サガン・ドリームスのほうに在中してあるような形で、そういう支援を行っていらっしゃるしまして、新たな部分については広告とか、そういうものを増やしていく予定ですということはお聞きしておりますけど、具体的には聞き出してはおりません。

#### 中川原豊志委員

鳥栖市もこういうふうな形で招待試合とかされる、また、そういうものが県とダブるようなことがあるのか分からんですけれども、その辺、連携を図っていただいて、知事もすぐ来て、頑張ろうという形で言われたんで、県と市と特に支援をしていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

#### 牧瀬昭子委員

先ほど聞き損なってしまったんですが、全戸配布とか、チラシのという話もあったんですが、この内訳を教えてくださいいいですか。この金額の中身が全部チケット代になるのかなと思っていたんですが、そうではなさそうだったので。この金額の中身を確認させてください。

#### 樋口伸一郎委員長

金額の内訳というのは事業内容で3項目書いてあるところですね。

#### 牧瀬昭子委員



御説明を聞いても、この金額がこの内容に係る金額として妥当なのかでさえ、あんまりぴん  
とこないわけです。

ですので、サガン・ドリームスさんと事前にいろいろ協議とか打合せとかされてきたって  
いうくだりが質疑応答の中でもあったので、例えば、ホームゲームにおける冠試合開催  
においての660万円は、この金額を投入することで、交流推進や地域活性化が今まで以上に図  
れるってような協議があったのか。要はこの金額がそれぞれにける金額として十分な  
ものか、そもそも疑問に思っておりまして、この金額で今までしてきたよりも、さらなる交  
流推進とか地域活性化が図られるというような理由とかがあったら聞きたいんです。

ただ、漠然とこれぐらいかかるやろうけんがってというような立て方なのか、それとも、冠  
試合には660万円ぐらい必要だってというような理由があったら教えてほしいんです。

そもそもこの金額が、これで足りるのか、足りないのかでさえもぴんとこないの。その  
辺を少しそれぞれ御説明いただけると、招待事業はこのぐらいの金額が必要、あとは観戦促  
進についてもこのぐらいの金額がやっぱり欲しいんだというか、J 2に行ったから、推進と  
か、活性化を図るのであれば、今までよりもこれぐらい必要なんだってというようなやり取り  
があったら、その部分を教えてほしいんですけど。

#### **石丸健一スポーツ文化部長**

冠試合については先ほど課長が申し上げたように、1社当たり幾らというふうに金額が決  
まっておりますので、先ほど課長が説明した、手つなぎで行ったりとか、前座試合したりと  
か、そういう内容のお話はさせていただいておりますけど、金額についてはもう決まってい  
る金額です。

それから、促進事業のグループシート、これも金額が決まっておりますので、あとは、こ  
れをどう活用するのかというのは、私ども市のほうで考えていくべきものだと思っておいま  
す。真ん中の部分についてはサガン・ドリームスさんの販売の見通し、それから、考え方と  
かと、ここは非常にリンクしているというか、影響が大きいので、この辺はどのくらいだっ  
たらいいのかというような話をして、2月、3月の試合では4,000人というふうに、ここは一  
定の協議をして出てきた数字でございます。

以上でございます。

#### **樋口伸一郎委員長**

ありがとうございます。

それであれば、固定費というか一定の額が決まっているものに関しては、やり方によっ  
てはこれまでと一緒になっちゃうじゃないですか。ですので、議決をして執行するに当たっ  
ては、やっぱりこれまでと内容を変えないといけないので、その辺りは向こうともよく協議を

しながら、もっと活性化につながっていくようにぜひ協議を進めていただきたいと思います。

あと、招待事業に関しても、これは本当に分からないところもあると思うので、そこに関しても、よく連携をしながら、サガン鳥栖と連携して冒頭に書いてあるので、そこをしっかりとやっていくようお願いをしておきたいと思います。

それと2点目、先ほど副委員長から予算の立て方について御質疑があったんですけど、逆転の発想じゃないけど、そういう面からの質問になるんですけど、決算とか当初予算の流れが、鳥栖市は3月ですけど、Jリーグは2月というふうにおっしゃったじゃないですか。この金額が本当に必要で、1年間ぐらいで本当にもう活性化させて、J1を目指すというような金額であるならばの質問ですけど、この時期に立てる、立てない点は置いておいて、そして2月、3月分ですけど、繰越明許費に上げていらっしゃるじゃないですか。だからむしろ、途中で切るってというようなものでもなく、向こうからすればこの支援事業自体がそのシーズン中に必要なものかなって思うんです。ですので、繰越明許費に上げるのであれば、もうそのシーズンの期間中全部分を積算して、ここで上げることもできたんじゃないかなと思ったんです。

3月で今、執行部としては新年度の分は、基本的に新年度で御協議をいただくというお答えもありましたけど、逆にそこで支援事業自体が減るとか、増える分はいいでしょうけど、減る可能性も出てくるわけですね。あるいはなくなるとか。というものも出てくるのであれば、ここでの必要性はちょっと弱いなと思ったんです。

むしろシーズン分、中身を変えるにしても、この事業がずっと年間通して必要だと、また補正も組めるんで。ですので、その分はじゃあこの繰越明許費で、1シーズン通して立てなかった根拠を聞きたいんです。

#### **石丸健一スポーツ文化部長**

実際そういう議論はいたしております。基本中の基本はやはり当初予算で御審議いただくことが基本です。ただ、2月、3月分は当初予算ではどうしても無理なので、必要最小限の部分を2月のこの臨時議会に上げさせていただくという考え方で整理がされたというのが一つ。

それから、様々な事業を検討する中で、今回間に合っていない部分もございましたので、そういうものも含めて、4月以降の分はしっかり調整をするので、手間取ったというものも若干はございますけれども、基本的には当初予算で御審議いただくものという考え方がございましたので、必要最小限の分を今回上げさせていただいたものでございます。

以上です。

#### **樋口伸一郎委員長**

承知しました。

ほかにごいませんか。

#### 牧瀬昭子委員

聞き損なってしまっていました。すいません。

ペアチケットの件で、親子ペアにする意義とか意味とかってというのはどのように考えてされたのか教えてください。

#### 小川智裕スポーツ振興課長

まず、小学生のほうがナイター等もありますので、19時からの試合等もありますので、やはり保護者同伴というのが……（発言する者あり）

2月、3月については14時からの分になっております。ただ、継続的な観戦につなげるためには、保護者の方にも一緒に見に来ていただいて、今後、楽しかったっていう、その臨場感とか、そういったものを感じていただいて、今後の応援機運をさらに高めるためには、親御さんと一緒に見ていただいて、継続的な観戦につなげたいというところでは、ペアで観戦をしていただくように考えているところでございます。

以上でございます。

#### 牧瀬昭子委員

先日、サガン・ドリームスさんが来られて、子供交流会というもので、子供たちの支援をされている方たちの交流会があって、そこでもぜひ観戦をということで呼びかけがありました。そういった方々へ周知するためにも、親子でっていうのは、今後、お金を出して来ていただきたいというのは、もちろんあると思うんです。

やはりサッカー人口を増やしたいとか、子供たちにそういう臨場感を与えたいということであれば、親御さんが行けないところでも子供は行きたいっていうところで、親御さんが共稼ぎだとか、土日も仕事しているところも多くありますので、子供が行きたいと言えば、行けるということをもう少し広げていただけるように。先ほど、子供たちが行けない状況を、企画が狭過ぎて、行きづらいシステムになっているのではないかと思うので。今後ぜひその辺りの検討をしていただきたいと思うんですけど。

今回こういうふうにされるのであれば、まだこれから検討できるのであれば、少しその辺りで、子供たちへの配慮というところでしていただきたいと思います。

あともう一つ、障害を持たれる方たちもなかなか見に行きにくい状況もありますので、小中学生というところにこだわらず、見に行きにくい方たち、これまで見に行きにくかった方たちへの、そういう裾野を広げるという意味でも進めていただきたいと思いますので、御検討いただきたいと思います。



## 健康福祉みらい部（地域福祉課）

### 議案乙第1号令和6年度鳥栖市一般会計補正予算（第7号）

#### 樋口伸一郎委員長

次に、健康福祉みらい部関係議案の審査を行います。

議案乙第1号令和6年度鳥栖市一般会計補正予算（第7号）を議題といたします。

執行部の御説明を求めます。

#### 林康司地域福祉課長

ただいま議題となっております、議案乙第1号令和6年度鳥栖市一般会計補正予算（第7号）中、健康福祉みらい部地域福祉課分につきまして文教厚生常任委員会資料に基づき説明いたします。

資料2ページをお願いいたします。歳出でございます。

款3民生費、項1社会福祉費、目6住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付費につきまして御説明いたします。

資料3ページをお願いいたします。

事業名、物価高騰に伴う低所得世帯支援給付金給付事業でございます。

事業の目的といたしましては、物価高騰等に直面する低所得世帯を支援するために給付金を給付するものでございます。国の国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策を踏まえ、国の臨時交付金を活用し実施するものでございます。

事業の内容といたしましては、対象者及び給付金につきまして、世帯全員の令和6年度住民税が非課税である世帯に1世帯当たり3万円の給付となっており、またその世帯の世帯主と同一世帯となっている18歳以下の児童1人当たり2万円を加算給付するものでございます。

手続といたしましては、プッシュ型として、令和6年度住民税非課税世帯として把握している世帯に対し確認書を送付いたしまして、振込口座等を御記入いただき、返送していただく手続と、申請型として、未申告等により令和6年度の税情報が把握できていない世帯に対し、申請書を送付し、申告等により税情報を判明された上で、住民税非課税世帯として申請いただくことになります。

給付金につきましては、可能な限り速やかに支給できるよう現在、確認書やお知らせの文書等の作成、また、システム改修及び給付金窓口設置のための事前準備の協議を行っており、初回の振込につきましては、4月上旬に、早ければ3月下旬を予定しております。

なお、申請期限につきましては、7月30日を予定いたしております。

周知方法につきましては、ホームページや市報等への情報掲載が主なものでございますが、市公式SNS等においても対応をしております。

事業費につきましては、給付金の対象見込世帯を7,000世帯とし、1世帯当たり3万円の支給で2億1,000万円。子供加算分として対象見込児童数を1,000人とし、2,000万円。合計2億3,000万円といたしております。

また、事業費の1,895万円の主なものといたしましては、資料2ページに戻っていただきまして、節1報酬から節8旅費につきましては、給付事業に伴う事務補助1名の会計年度任用職員の人件費及び職員の時間外手当でございます。

節10需用費につきましては、消耗品費と印刷製本費としての封筒代等でございます。

節11役務費につきましては、申請書等の郵送代などの通信運搬費及び給付金の振込手数料となっております。

次に、節12委託料につきましては、システム改修委託料、申請書等の発送のための封入封緘委託料及び給付金についての相談受付窓口業務、コールセンター業務、申請等の受付及びデータ入力業務等への対応の給付金業務委託料を計上いたしております。

また、節13使用料及び賃借料につきましては、コールセンターに設置する電話機設備の事務機借上料でございます。

以上で歳出の説明を終わります。

続きまして、令和6年度繰越明許費について御説明いたします。

款3民生費、項1社会福祉費、事業名、物価高騰に伴う低所得世帯支援給付金給付事業につきましては、令和6年度住民税非課税世帯の給付金の給付事業におきまして、4月1日以降の申請受付分の対応のための繰越明許費の計上を行っております。

説明は以上でございます。御審議のほどよろしく願いいたします。

#### **樋口伸一郎委員長**

ありがとうございました。

執行部の御説明が終わりました。これより質疑を行います。御質疑の方、挙手にて御発言をどうぞ。

#### **中川原豊志委員**

ありがとうございます。

国からの補助金の活用ですが、低所得者は分かるんですが、非課税世帯も——これはコロナのときからずっとあって、ここ数年、毎年続いていると思うんですが、この非課税世帯は低所得者って分かるんですが、この使い道しかできないのか。例えば、ほかに低所得者けれども、ぎりぎり税金を払っているけど、厳しいというような人たちにも使えないのか。使



途について確認させてください。

#### **古賀達也健康福祉みらい部長**

今回の低所得者世帯への非課税世帯への給付金につきましては、国の交付金でございます。国の交付金の中で、この低所得者世帯への分は別枠で交付金でございます。それとは別で重点支援地方交付金の中で推奨事業等もございます。その中でいろんな形での支援事業があるんですけども、今議会にはプレミアム商品券の部分を提案させていただいております。非課税世帯のこの分については、使途というか、決まっているものでございます。

以上でございます。

#### **中川原豊志委員**

ここ数年、四、五年連続で非課税世帯への給付金というのが、税金を払っていない人いっぱい税金を出している形で、言い方は悪いかもしれませんが、どうにかこうにか少しでも税金を払っていらっしゃるような家庭でも生活に苦しんでいらっしゃるところもあろうかと思うんです。そういったところには、プレミアム商品券でどうにかしなさい、というふうな話じゃなくて、もう少し低所得者の枠を広げてあげることってできないのか。例えば、単身で子供さんを育てていて、どうにかうちは税金を少しでも払っているけどきついと。米の値段も上がった、灯油の値段も上がったと。そういうところに対して、非課税世帯だけじゃなくて、もうちょっと枠を増やしてあげる方法ってできないのかと思っておりますが。

#### **古賀達也健康福祉みらい部長**

いろんな形での支援があるかと思います。国からの重点支援交付金の枠がありますので、その活用について、全庁的な中でいろんな事業の検討を行っているところでございまして、今回御提案いたしておりますのは、あくまで国で指定があります非課税世帯の給付金でございます。例えば、これまでも学校給食費の値上げ分に交付金を活用して補填したりとか、高齢者の食の自立の分の値上げ相当分を補填したりとか、保育園の給食費の値上げ相当分を補填したりというような形で、全てには応えることはできないかと思いますが、交付金の枠の中でいろんな状況等を判断する中で、事業の検討を行っているところでございます。

以上でございます。

#### **中川原豊志委員**

いろんな支援をされているのは承知をしておりますが、非課税世帯のところに集中しているようにも見えるんで、やはりそこだけじゃない、全ての人が本当に物価高騰等で苦しんでいらっしゃるところがありますんで、もう少しいろんな方に支援できるような枠を広げていただくようなことも、今後は考えていただきたいと要望しておきます。

#### **樋口伸一郎委員長**

ほかにありませんか。

**西依義規委員**

この7,000世帯の内訳というか、年齢層とかそういうのは分かりますか。例えば、高齢者世帯がこれぐらいで、子育て世帯がどれぐらいとか。どういう方々か把握されていますか。

**林康司地域福祉課長**

非課税世帯として、基準日のほうが令和6年12月13日となっておりますが、仮の抽出といたしまして12月1日現在で非課税世帯として6,200世帯を抽出しているところでございます。抽出はそこまでで、年齢層とかの分析までは行っていないところでございます。

**西依義規委員**

この中で①の世帯主と18歳以下の児童がいるじゃないですか。対象見込児童数の1,000人。ということは、そういうバランスってということで、1回計算しないとそれは……。

例えば、この中で子供がいる世帯は何世帯って分かっているんでしょうか。

**林康司地域福祉課長**

子育て世帯は18歳以下の児童がいる世帯というところで抽出をいたしまして、550世帯ということは抽出いたしております。

**西依義規委員**

あと事務費っていうか、業務委託料のほとんどは給付金業務委託料1,230万円ですけど、入札か何かでしょうけど、委託先って何者ぐらいあるんですか。

**林康司地域福祉課長**

このコールセンター等々や相談受付等の業者につきましては、昨年度までがアスタスク株式会社唐津という業者で、数回その業者をお願いしたところでございます。令和6年度新たにという業者につきましては、株式会社日本旅行さんのほうが担っていただいたんですが、契約といたしましては、5号随契——緊急を要するということで業者見積りを取らせていただいて、業者につきましては、3社見積りをお願いする予定でございます。

**西依義規委員**

何で随契ですか。緊急を要する。

**林康司地域福祉課長**

今回予算を議決いただきまして、今もう問合せ等々たくさんいただいております。その窓口の対応も、そこの業者をお願いしたいと思ひまして、2月の中旬には設置したいと考えておりまして、国のほうにつきましても、そういった緊急を要する場合であれば、この給付費につきましては、5号随契でも可能というふうに示してありますので、それを活用して契約を行う予定としております。

#### 西依義規委員

じゃあこの1,230万円は既に見積りをもらった金額ということで、この見積りの項目で、主にこういったものに何百万円とか、ざっくり教えてもらっていいですか。

#### 林康司地域福祉課長

主に人件費になるんですけれども、ただ、この金額につきましては、前回契約をいただいた業者に見積りをお願いし、2月中旬から8月上旬までの試算で、受付の人員配置等々で出していただいたものですが、その入札に係ります分につきましては、内訳につきましては、人件費として970万円。そのほか備品や印刷製本費等々で70万円となっております。あと消費税です。

#### 西依義規委員

2月から8月の6か月間で、何人の方が携わるのか。延べ人数というか、どういう計算ですか。

#### 林康司地域福祉課長

延べ人数は計算が出しきれていないんですけれども、当初はもう受付だけですので、1日当たり二、三名でありまして、実際、申請書を発送して受け付けるときには10人ぐらいの体制を取ってもらうようにしております。

#### 西依義規委員

あと、一番上に報酬で、会計年度任用職員さんが1名とありますが、その辺の仕事の分担っていうか、きれいに分かれているのか。全部一緒にその業務をするのか。その辺は、委託と直轄と職員さんの残業代とか含めて、どういう組織になるんですか。

#### 林康司地域福祉課長

窓口の委託の方の業者につきましては、給付金についての相談受付、それとコールセンター業務、申請書等の受付やデータ入力業務を担っていただくようになります。会計年度任用職員につきましては、こちらに電話があった場合の対応や窓口に来られた方への給付金窓口への案内、また窓口の業者から来ました書類の確認等々をしてもらうような業務になります。

#### 西依義規委員

きれいに分かれているのか、一緒にするのか。要は116万1,000円が要するのか、要らんのか。絶対要りますでしょう。そこを聞いています。

#### 林康司地域福祉課長

業務としては別ですので、窓口業者につきましては、1,203万円は必要な金額です。（「会計年度も」と呼ぶ者あり）

会計年度もです。

**樋口伸一郎委員長**

ほかにございませんか。

**成富牧男委員**

私も西依委員と同じところを質問しようと思ったんですけど、給付金事業というのは、大体似たような――さっき中川原委員からあったように、ここ何年かずっと行われている。中身は違うけど、流れというのか、そういうものは似たようなものじゃないですか。

**林康司地域福祉課長**

まず、国から各自治体で行ってくださいというようなことで給付金の予算をつけられます。それに基づいて、例えば、給付金の内容に基づいてシステムの改修が必要になってきます。流れといたしましては、対象を抽出してからのその方への発送、それが来てからの受付と給付金の振込の作業と、そこは一緒の流れでございます。

**成富牧男委員**

何を言いたいのかというと、さっきの会計年度任用職員の1人です。これと今、言われた委託料の中で想定している人員、これはどんな積算になっているんですか。

**林康司地域福祉課長**

会計年度任用職員1名につきましては、書類等の確認ですので、私たちと同じフロアにいて、時間内に業務を確認できるかなというところですけども、給付金の窓口につきましては、今回は7,000世帯ってところの世帯数等々も踏まえたところで、その問合せ件数や実際の処理件数、今までの実績等々も踏まえて、人数の分配、1日にどれくらい人数がかかるであろうというところを見まして積算をいたしております。

**成富牧男委員**

その金額っていうのはあるんですか。1人当たりの金額。

**林康司地域福祉課長**

スタッフ1人、1日当たり1万3,500円、リーダーの方が1万8,000円で積算をいただいております。

**成富牧男委員**

会計年度任用職員の報酬と比較する方法、今、言われたのは1日当たりやったかな。単純に委託、委託と言っているけど、委託料には管理費とかも入ってくるじゃないですか。そして内容といえば、大体もう定型的な委託をするけど、委託先もそのときに人を募集して、そして来てもらうんだから、そんなにいろいろ知っておかないといけないとか、技術が要る話じゃないと思うんです。

そうすると、委託、委託と言っているけど、意外と委託で高くつくってということはないの

かなと思うので。単純な質問なので、さっき言ったように、比較検討できるような数字があればということです。

#### **古賀達也健康福祉みらい部長**

基本的に、窓口の人数については、それぞれの業務内容に応じて人数を変更します。それが円滑に対応できるという部分と、もう一つは業務委託することによって、業者のほうでスタッフの研修、それからマニュアルの作成等も行っていただきますので、そういった関係で、全てを会計年度よりも、単価は委託のほうが高くはなりますけれども、円滑で適切な業務遂行におきましては、業務委託のほうが適切であるという判断で今回、提案をさせていただいているところでございます。

以上でございます。

#### **成富牧男委員**

もう国から次から次に、まだ仕事が終わらないうちに次の給付金が来るような感じで、現場の状況が大変だということは分かっておりますけど、やっぱりちょっと立ち止まって、昔で言うなら、臨時さんとか嘱託さんとか、それとの比較を――結局さっき言ったように上乘せの分があるじゃないですか。委託料の中には管理費というのは必ず入ってくるでしょう。必ずじゃないかもしれないけど、一般的には入ってきますよね。

その分を考えたら、果たして安く上がるのかどうか、場合によっては嘱託職員でやるという選択もあるのではないかと考えておりますので、この際、言わせていただきました。

以上です。

#### **樋口伸一郎委員長**

ほかにございませんか。

#### **西依義規委員**

例えば、家庭内DVとかで住所を別にしている方とかが、鳥栖市内にこれまでいらっしまったのか。いた場合はどういう対応をしたのか教えていただけますか。

#### **林康司地域福祉課長**

DV等々で避難されてあるということであれば、こども育成課等々で把握していますので、そういった情報を頂きながら、そこの御住所等に送らせていただくようにはなります。

#### **西依義規委員**

ということは、もうこっちから把握しているんで、もうその住所じゃなくて、避難された違う住所に郵送しているってことですか。分かりました。ありがとうございます。

#### **樋口伸一郎委員長**

ほかにございませんか。

それでは、質疑を終わります。  
暫時休憩します。

~~~~~

再開いたします。

~~~~~

– 36 –

以上、御報告をいたします。

#### **樋口伸一郎委員長**

ありがとうございました。

この際ですので、御確認とか御意見等がありましたらお受けしたいと思います。

#### **牧瀬昭子委員**

2番目の地域包括支援センター委託先というところで、新規で変更になっているところになった経過を教えてください。

#### **竹下徹高齢障害福祉課長**

5年に一度、委託先の見直しをするということで、現在、委託をお願いしている法人のほうに、事前に来年度以降の意向調査というのを鳥栖地区の市町村圏組合からしてあります。

その結果、田代基里と若葉弥生が丘については、来年度以降の委託が難しいということで、辞退をされました。そういった経過で公募を行った結果、如水会と寿楽園のほうに応募されたということで、その内容を審査して、組合のほうにうちのほうから推薦をしております。

先日の地域包括支援センターの運営協議会でこちらの2法人が承認されましたので、今回御報告をしている次第です。

#### **牧瀬昭子委員**

先ほど辞退をされたというところをおっしゃいましたけれども、辞退された理由は把握されていることがありましたら教えてください。

#### **竹下徹高齢障害福祉課長**

三善会につきましては、包括職員の退職が見込まれておりまして、その方の退職後の人材の確保の見通しが立たないということで、どうしても人がそろえられないという理由ということで聞いております。

また、健翔会につきましては、法人内での事業見直しの中で包括の辞退との判断に至ったと聞いております。具体的にはうちも法人の事業見直しの中身がどのようなものかということまではお伺いしておりませんけれども、難しいということで、うちのほうも何回か訪問して、何とか来年度以降もお願いできないかというお願いはしてまいりましたけれども、結果、辞退という形になっております。

#### **牧瀬昭子委員**

ありがとうございます。

人材の求人が難しかったという点と事業の見直しというところがあると思うんですけど、今回、新規で応募して下さったところがあってよかったと思うんですが、そこが分からないですけども、人材を育成するためとか、公募するために、やはり費用面とか事業委託料

とかが見合っていないくて、なかなか経営的に厳しいということがあるのであれば、今後継続されるところにも御負担を強いる可能性があるのではないかと思うんですけども、その辺りはどのようにお考えですか。

#### **古賀達也健康福祉みらい部長**

委託に当たりまして、委託料等につきましては、広域市町村圏組合のほうで行うんですけども、必要な委託料等の支援というか、拡充については今回検討されているところでございます。

以上でございます。

#### **牧瀬昭子委員**

広域のほうで委託料のほうはということではあると思うんですけども。利用されている方たちへの御負担とかっていうものも委託先が変わることによって、職員さんが変わっていくこととかもあると思うのですが、その辺りの職員さんの配置とか変更とかっていう点は継続されることは難しいということで理解してよろしいでしょうか。

#### **竹下徹高齢障害福祉課長**

今、受託されているところの包括の職員さんが、新しいところに行くかどうかは分かりません。多分ないとは思いますが。引継ぎに関しては、しっかりやっていくということで、現在の受託業者さんは言っていますので、その辺は市民の方には不都合がないようにやっていっていただけるものと思っております。

#### **牧瀬昭子委員**

現在、利用されている方たちも、ケアマネジャーさんとか包括の方々も、やはりその地域に根づいて頑張っていただいているところだと思うんです。その地域の中でこういうことがありましたというものもお話しいただけるので、そうなったときにまたがってやっていただけるのは大変ありがたいんですけども、人員配置とか、また異動するとか、また移らないといけなとか、その方が継続して行うことができないとかになると、その地域の方たちが、今までつながってきたこと、継続してきたことが難しくなってくるのではないかと思います。

ですので、その辺りはやはり包括支援センターを継続するためにも、中身についても、もう少し鳥栖市としても広域と一緒に委託料についても御検討いただくとか、引継ぎについても伴走していただきたいなと思いますので、意見として申し上げたいと思います。

#### **樋口伸一郎委員長**

御意見ということです。

ほかに。

#### **成富牧男委員**



単純な質問ですが、委託先が変わる田代基里地区、若葉弥生が丘地区です。実際のセンターはどこに設置と言うと、大げさになるけど、窓口はどこになるんですか。

#### **竹下徹高齢障害福祉課長**

田代基里地区につきましては、現在、今村病院内の鳥栖鳥栖北地区の包括がある事務所の隣になります。なるべく早い時期に田代基里地区の管内に事務所をつけていただくようお願いをしております。

それから、若葉弥生が丘につきましては、弥生が丘地区のコミュニティーセンターがあるところに、すぐ近くに寿楽園ございますけれども、あそこの中に事務所を構えられる予定になっております。

#### **成富牧男委員**

寿楽園の場所をもう一回。（「弥生が丘のまちセンの北」と呼ぶ者あり）

あそこね。

若葉弥生が丘はその地区内に入っているけど、田代基里地区はさっき説明があったように一時的にはそのまま今村病院の中でっていうことだったですね。分かっているから一時的にと言われたと思いますけど、地域包括支援センターは基本、区域を定めてっていう前提がありますよね。それは現在、何かにうたっていないんですか、ここの地域の人をと。（発言する者なし）

#### **樋口伸一郎委員長**

質問の趣旨は通じてますか。

#### **竹下徹高齢障害福祉課長**

圏域内に必ず事務所を置かないといけないっていう明示された文面とか、決まりはないので、圏域外であっても可能ではあります。ただ、やっぱりどうしても地元の方が利用される施設になりますので、圏域内に置くのが適当だろうとは思っております。ですので、9月に公募して、11月には組合に推薦を出さないといけないという状況の中で、どうしてもその期間で圏域内に事務所を見つけるというのが難しかったということで、当面の間ということですけれども、今村病院の中でっていうことで応募を受けております。

#### **成富牧男委員**

文字どおり地域包括支援センターですので、それは分かっているよっていうことで言われたと思いますけど、それがだらだらとならんように。ここは一般的な施設とは違うから、同じ人がずっとそこに通うとか、そういう場所ではないのは分かっていますが、ぜひよろしくお願いしておきたいと思います。

終わります。

## 樋口伸一郎委員長

御要望ですね。

ほかにございませんか。

## 西依義規委員

こういう機会ですんで、地域包括支援センターの適正規模みたいなものがあるから、そうやって田代基里地区とか若葉弥生が丘地区みたいにしているんですか。例えば、小学校校区でもできないことはないけど、受け手の問題とか、そういったところだと。

地域なら地域にあったほうがいいと思うんです。若葉弥生が丘地区に今から来て、若葉の方がまた行きにくくなったって、それは事実なんで。その辺は仮の範囲なのか、それともずっとこれで、こういう体制でいくべきなのか、市はどういうふうに思っていますか。

## 古賀達也健康福祉みらい部長

地域包括支援センターの規模としては高齢者人口が3,000人から6,000人で1つの包括支援センターという形になります。以前は田代基里と若葉弥生が丘は当初は一緒だったんですけども、その人数を超えるというところで、若葉弥生が丘は3,000人未満でしたけれども、分割して今、4包括にしております。今後も地区の地域のほうで、高齢者人口が増えてくる可能性がございます。

鳥栖鳥栖北とかも6,000人を超える可能性も今後5年間の中でありますので、今後そういう人数を超えた場合は、また圏域の見直しっていうのは今後考えていく必要があるということ認識をいたしております。

以上でございます。

## 西依義規委員

いろいろ資料を見ていたら、確かに3,000人から6,000人と書いてあるんです。もちろんそれもあるけど、1,000人未満でも書いてあるんで、それは市の考え方でありまして、もしその辺もうまくできるならば、できるだけやっぱり地域に近いほうがいいんで、がんじがらめに3,000人、6,000人とせずにぜひ臨機応変に。

基里も絶対、基里に行くほうがいいと思うんです。ほかの市町と比べたら鳥栖市は狭いですよ。ただ、縦長の基里で、田代のあそこまで行かないといけないとなれば、あれなので。人口以外にも地理的なバランスとか病院の配置も含めて、鳥栖市全体で考えていただければと思います。

以上です。

## 牧瀬昭子委員

基本的なことで教えていただきたいんですけど、地域包括支援センターの人員配置で、人



〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

それでは、総括を終わります。

採 決

樋口伸一郎委員長

以上で本日の日程は終了いたしました。

これをもちまして、令和7年2月臨時会の文教厚生常任委員会を閉会いたします。

午後0時23分閉会

鳥栖市議会委員会条例第29条の規定によりここに押印する。

鳥栖市議会文教厚生常任委員長 樋口 伸一郎

